

ノーリフト通信 (第4号)

神奈川県立さがみ緑風園 ノーリフト委員会

⚠️ ~介護力士士になっていませんか! ? ~

目次

1 福祉機器を使ってみて ~5H・フレックスボード~

2 らくらく介護研修 ~立ち上がりの生理曲線~

こんにちは! 令和初のノーリフト通信は5ホームが担当です。

5ホームでは、「(1)フレックスボードが導入されたこと」「(2)対面トランスの場面で事故が起きてしまったこと」の2点により「持ち上げない介助」が徐々に浸透してきています。

今回はフレックスボードの使用感や使用方法についてまとめてみました!

また先日「らくらく介護研修」にも参加してきました! 学んだことを少しですがご紹介したいと思います。

1 福祉機器を使ってみて

フレックスボードなし ver.



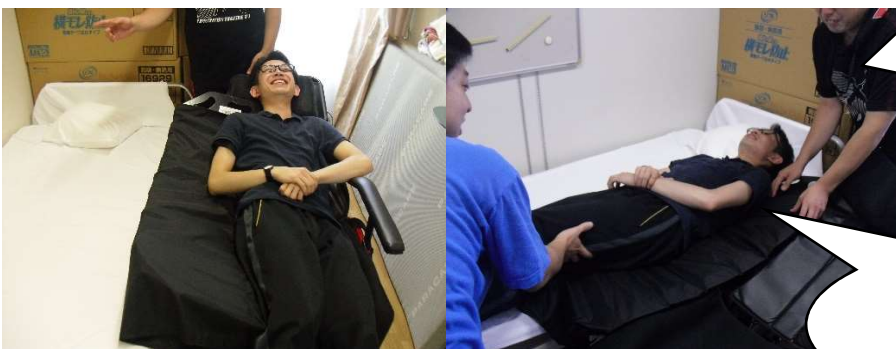
利用者

「ドスン!」と来るから背中が痛いよ

職員

急いであるから、持ち上げて移行しよう!

フレックスボードあり ver.



職員

準備時間は少しかかるけど、負担は断然少ないね! 横にスライドさせるだけだからとてもラクだね!

利用者

「持ち上げてドン!」より「持ち上げずスー」なら怖い!



5 ホームでは、左の図のように車椅子とベッドの間にクッションを入れて行っています！隙間がないので移行も安心です！

2 らくらく介護研修～立ち上がりの生理曲線

人が立ち上がるために必要な要素について、言語だけで説明すると、

- ① 足を引く(足先を膝の位置より手前に)
- ② 前かがみになる(頭の中心が足より前)
- ③ 遠いところに掴まり、移行する。

…となります。言葉だけではよくわからないので、図で表すと下の写真のような感じです。



つまり、下の写真のように高いところにつかまって、足を前に出して移行をすると職員の力だけで介助をしてしまっています。



<まとめ>

福祉機器を使うことで、①職員の負担が軽減した②利用者の表情も良くなった2つが良い点として挙げられます。また利用者の皆さんにとって、ベッドにあがりたいタイミングでのベッド移行や固縮・骨折・褥瘡の予防など福祉機器を用いることで様々なメリットが挙げられると思います。

準備に時間が掛かりますが、職員が目線だけでなく利用者の目線にも立って安心安全な介護を行っていきましょう！

以上、ありがとうございました。